

ニュースレター 12月

2020. 12. 1発行



今月は家の臭いについて、その原因と対策についてお届けします



家の臭いはどこからやってくるのか？臭いを溜め込むモノの達の正体、その原因と対策をご紹介します。キッチンやお風呂、ペット、古い畳やカーテンなど、まずは臭いの原因をチェックしてみましょう。

1、気になる我が家の臭いは？その原因と対策を知っておく

家の臭いはどこからやってくるのでしょうか？誰かの家を訪問した時にまず最初に感じるものと言えばその家の臭いです。玄関を一步入るとほのかに漂ってきて、芳香剤を置いても混じり合っ、やはりその家ならではの独特の臭いがします。

やっかいなのは、自分の家の臭いは住んでいる人には分からないことです。今回は、臭いを溜め込むもの達の正体、その原因と対策をご紹介します。



2、家の臭いは1つだけではない

家の臭いの原因は1つだけではありません。様々な臭いが入り混じり家に染み付いたものです。たとえばキッチンだけでも調理の際の臭いはもちろん、生ごみ、排水口など臭いの元となるものがいくつか存在しています。

体臭が付いた衣類や寝具も、家の臭いの原因のひとつです。家族の出入りがあった後に何うと、家の臭いが微妙に変わっていることもあります。家の臭い対策をするために、その原因となっているものを知っておきましょう。

【臭いの原因となっているものの例】

- 食品類
- 調理の臭い
- 生ごみ
- 排水口
- 浴室・洗面などの水まわりの汚れ
- トイレの汚れ
- 湿気によるカビ
- 体臭のついた衣類や寝具

これらが混じり合い、その家ならではの独特の臭いとなっています。自分の家の臭いは普段は慣れてしまって分かりにくいのですが、旅行などで数日間留守にすると、家に入る際に感じることで確認しましょう。では、それぞれの臭いの原因と対策についてご紹介します。

3、キッチンの臭い対策、換気扇にも要注意



キッチンには、ストック食品、生ごみ、排水口、コンロまわりの汚れなど、家の臭いの原因となるものが数多くあります。

まず臭いのする食品はできるだけ冷蔵庫にしまいましょう。排水口、コンロはもちろん壁面もこまめな掃除を行い、除菌用のアルコールで拭き取りをしておくことでスッキリします。

キッチンの臭い対策では、換気扇も要チェックです。フィルター汚れや経年劣化によって、吸い込みが悪くなると、油煙が広がり、室内の壁や天井、照明に汚れがついて臭いの原因になります。

調理中は必ず換気扇を回し、フィルターや内部の羽が汚れていたら丁寧に掃除をしておきましょう。10年以上使用した換気扇はそろそろ交換を考えた方がいい時期です。キッチンだけでなく、水まわりは湿気が多く、臭いが強く感じる場所です。まずは排水口をチェック。掃除をしても排水の臭いがする場合は、排水管の掃除をしましょう。業者に依頼して高圧洗浄をすると、奥までキレイになります。洗濯機の裏壁はカビが、トイレは便座と便器のすき間が特に汚れが溜まりやすく、臭いの原因となります。

4、ペットの臭い対策、犬は体臭、猫はトイレが原因に



ペットが家の臭いの原因になっていることがあります。動物を飼っている人の家は臭いでわかります。それがネコなのか犬なのか、ウサギやハムスターなのか区別もだいたいわかります。爬虫類の場合は、水槽の前に立つまで気が付きませんでした。

ペットたちのハウスや水槽、カゴはマメな掃除が大切です。ペットの臭いは、一緒に暮らしていると気づきにくいのですが、外から来た人には、強い臭いとして感じられることが少なくありません。

犬の場合→体臭、犬用クッション、毛布、おもちゃ
ネコの場合→トイレ

まずは、こまめな掃除が必要です。又ペットのいる部屋に換気扇を付ける。壁に消臭機能を持ったタイルやクロスを張るのも消臭効果があります。消臭機能をもつ壁材は、様々な家の臭いが軽減できます。玄関の靴の臭いや、寝室、ダイニングキッチンでの臭い対策にも有効です。

5、お風呂の臭いがする家？原因はひどい湿気

お風呂のような臭いがする家もあります。調べてみると原因は湿気で、中には床下がびっしょり結露しているような家もあります。床下の湿気は家の臭いを強めるだけではなく、家のカビも繁殖させます。

一戸建ての場合は、冬に床下を覗いてみて土が見えたら、乾燥具合を見てみましょう。完全に乾燥していないようであれば、湿気が多い土壌の可能性があります。床下の湿気は土台などを腐食させ、シロアリが繁殖しやすい環境でもありますので、専門業者に相談し、早めの対策をしておきましょう。

6、家の臭いの原因となっている布、古い畳



臭いが強く感じられる家は、ファブリック、つまり布類を多用している家です。インテリアでファブリックを使うのは効果的で、ドラマチックな演出ができ写真集などでもよく使われます。

しかし布類は臭いを吸着しやすく、家の臭いの原因となることが多いので注意が必要です。寝室で臭いが強いのも、体臭が寝具に染み付いているからです。カーテンやクッション、ラグはもちろんのこと、寝具類や衣類なども臭いのチェックをしておきましょう。

布の臭い対策は、消臭機能が付加された布製品を選ぶ方法もあります。手っ取り早いのはウォッシュャブルタイプを選んでよく洗濯することです。

古い畳も臭いを強く感じる場合があります。そんな時は、畳を天日干し丁寧に掃除機をかけて、消毒用アルコールなどで拭き掃除をするだけでも臭いを軽減できます。

その後、畳の下に炭シートを敷くのもいいでしょう。

畳のお手入れ時期は、畳表が7～8年で表替え、新床への交換は10年が目安です。交換時期がきたら、思い切ってリフレッシュするのもいいでしょう。

家の臭い対策は、まずは原因を取り除き、臭いを倍増する湿気を防ぐ工夫をしておくことが大切です。



HPの
お問い合わせは
こちらから

株式会社 渡辺組
土 木
建 築
リフォーム

本社 海津市海津町高須町720-1
0584-53-0174
リフォーム 海津市海津町馬目371-3 (コーポ日新1F)
0120-202-988
E-mail: info@watanabegumi-kaizu.com
URL: http://www.watanabegumi-kaizu.com/

*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご遠慮なくお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。